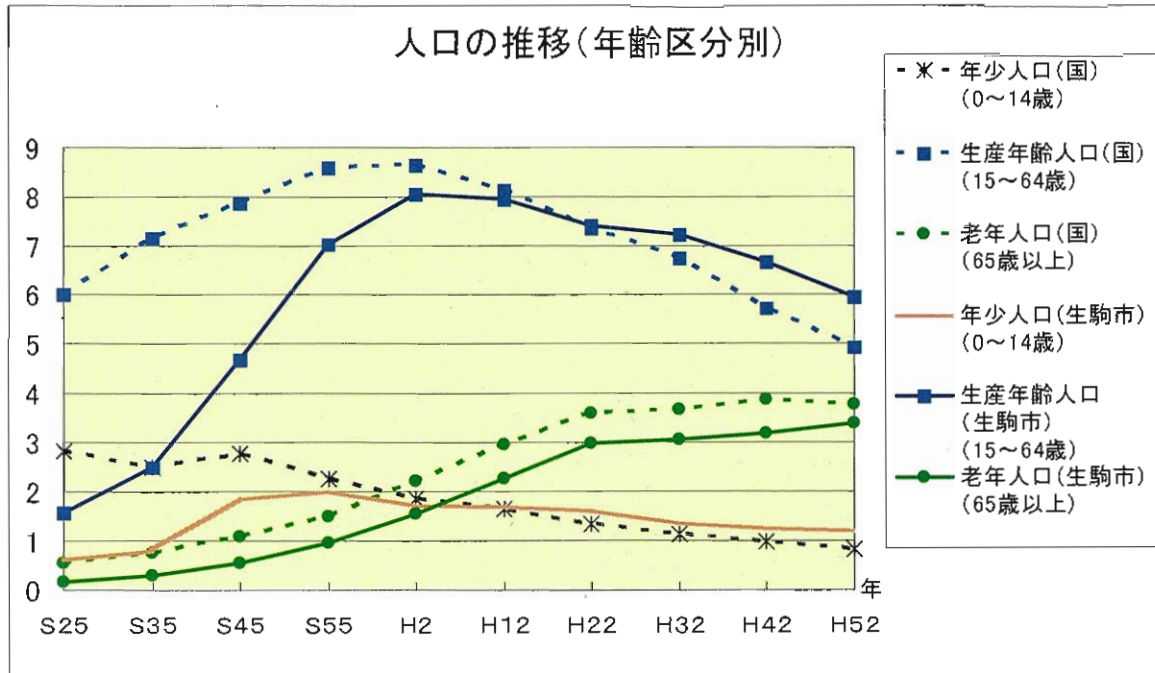


# 資料4

生駒市行政改革推進委員会「提言書」より

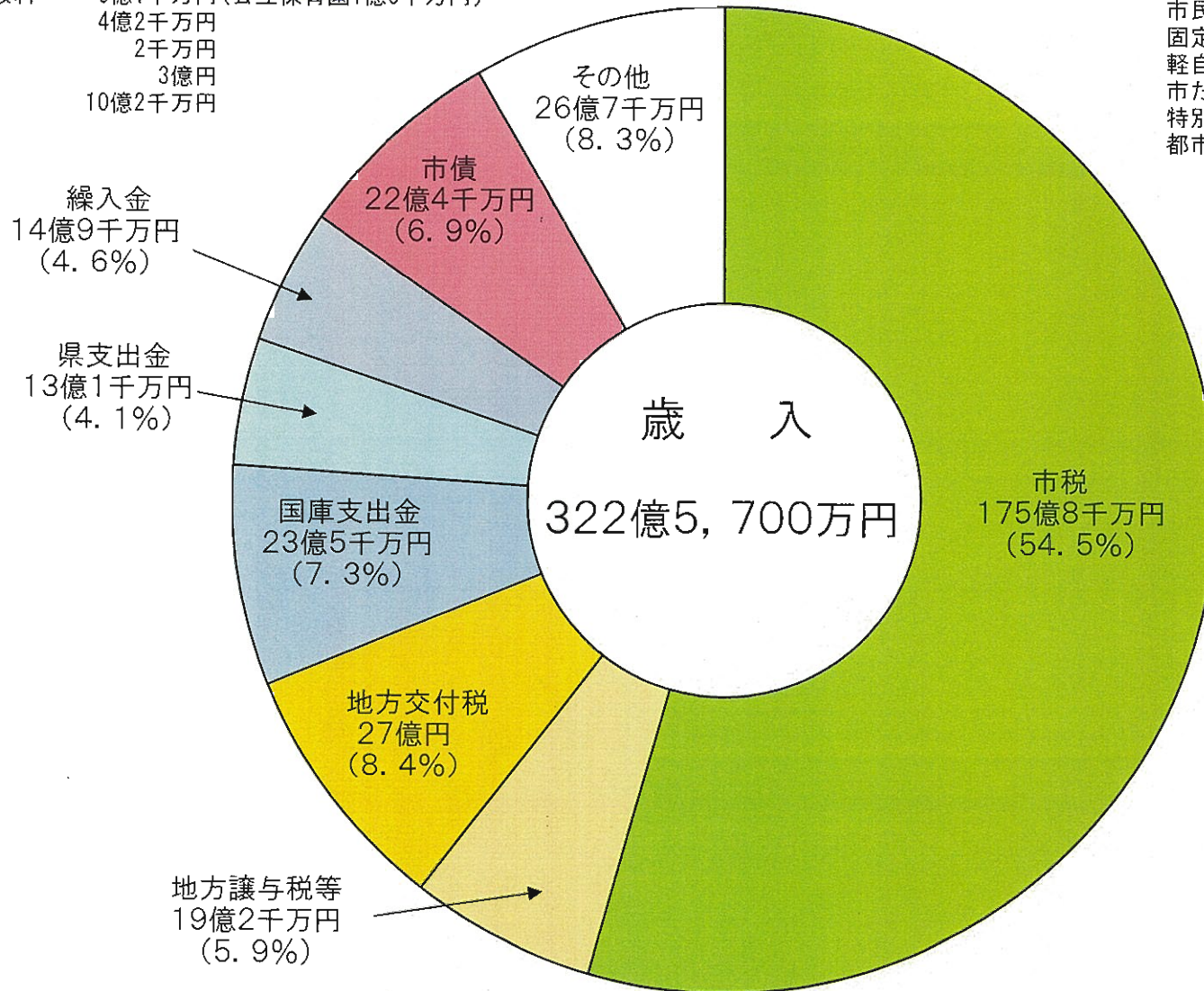


# 平成20年度一般会計予算案 【歳入】

その他の内訳  
 分担金・負担金  
 使用料・手数料  
 財産収入  
 寄附金  
 繰越金  
 諸収入

3億円(私立保育園2億6千万円)  
 6億1千万円(公立保育園1億6千万円)  
 4億2千万円  
 2千万円  
 3億円  
 10億2千万円

市税の内訳  
 市民税 99億1千万円  
 固定資産税 59億1千万円  
 軽自動車税 9千万円  
 市たばこ税 4億2千万円  
 特別土地保有税 600万円  
 都市計画税 12億4千万円



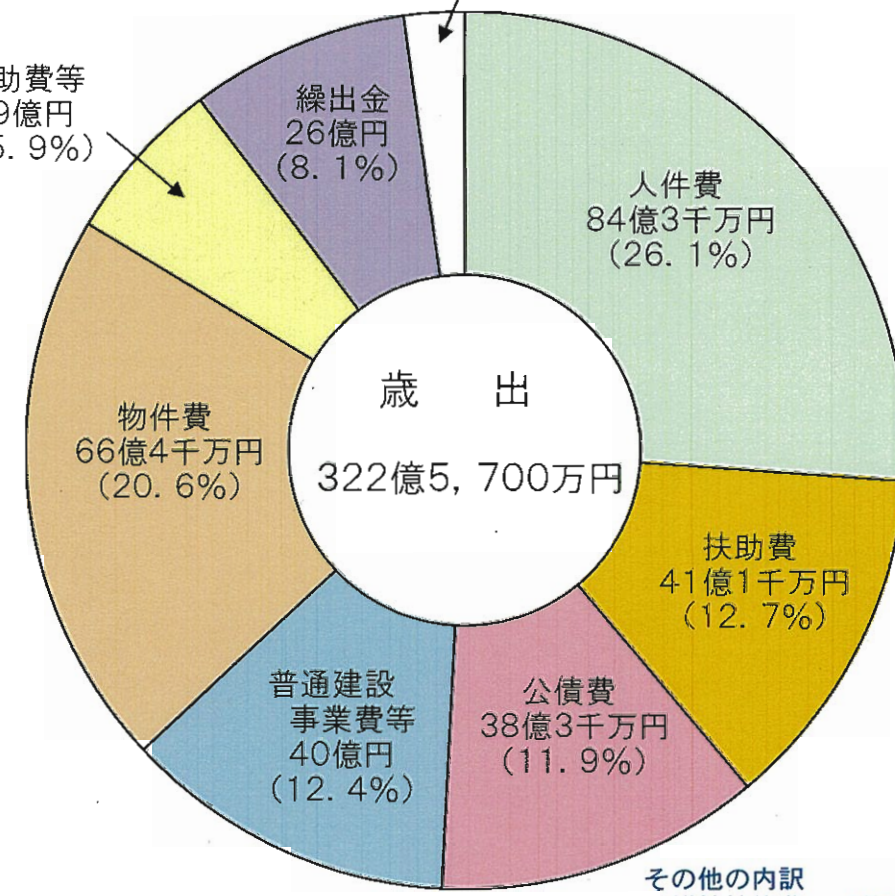
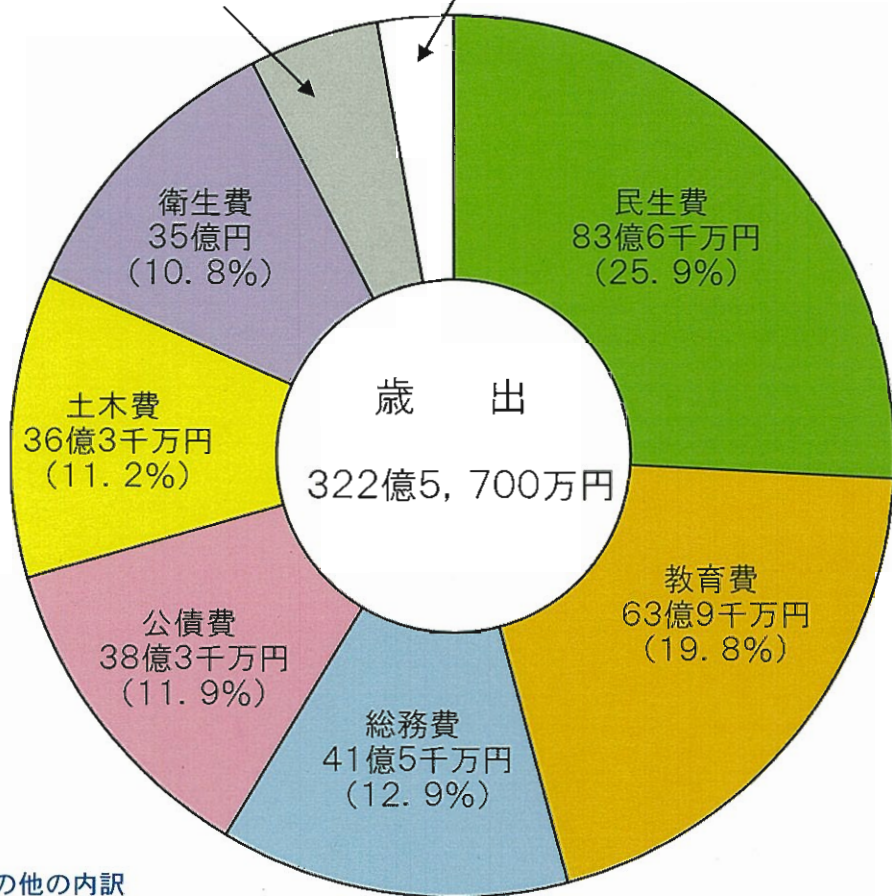
# 平成20年度一般会計予算案 【歳出】

(目的別)

(性質別)

消防費 14億9千万円 (4.6%)    その他 9億1千万円 (2.8%)

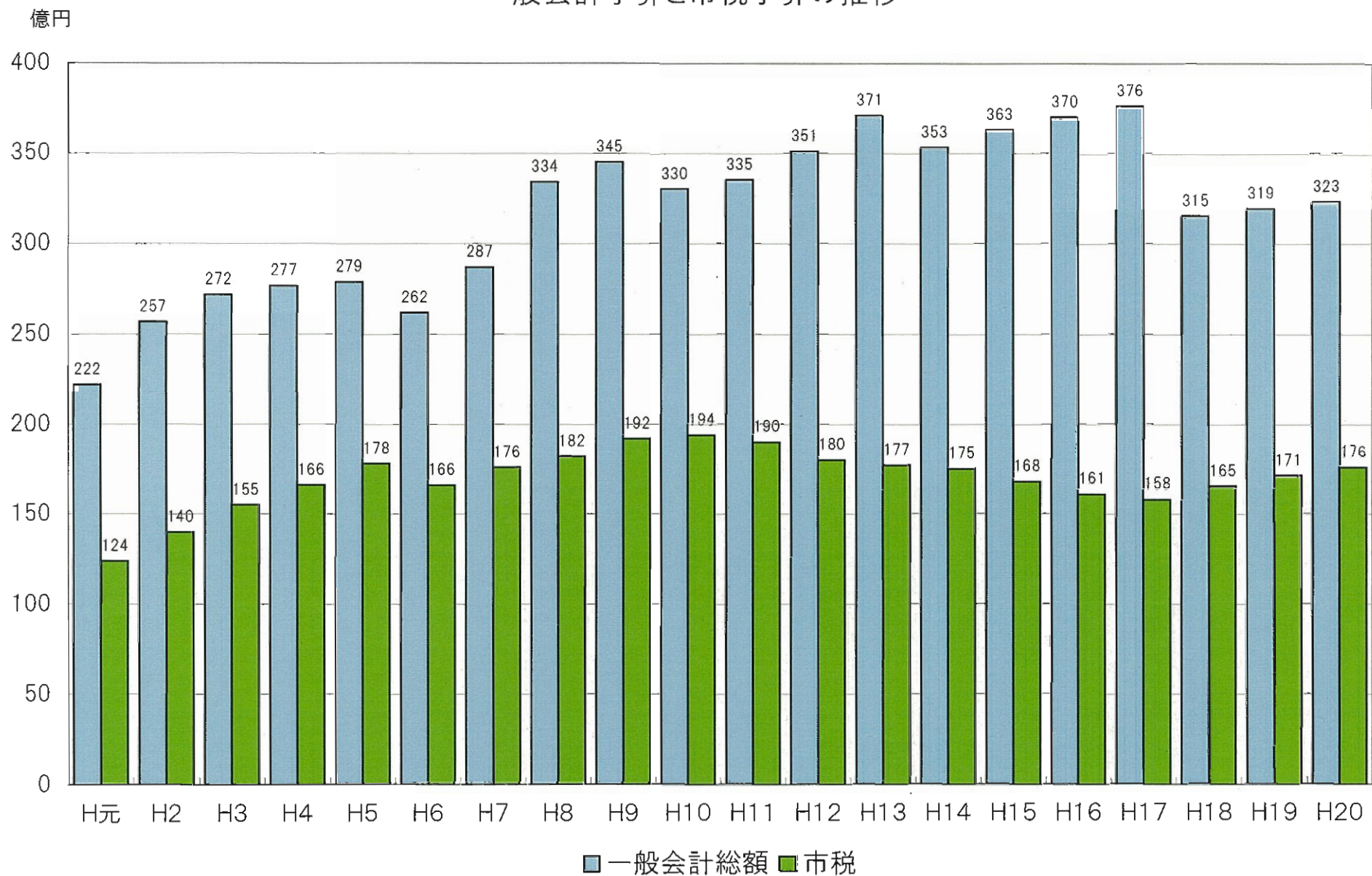
その他 7億5千万円 (2.3%)



その他の内訳  
 議会費 3億8千万円  
 産業経済費 4億7千万円  
 災害復旧費 1千万円  
 予備費 5千万円

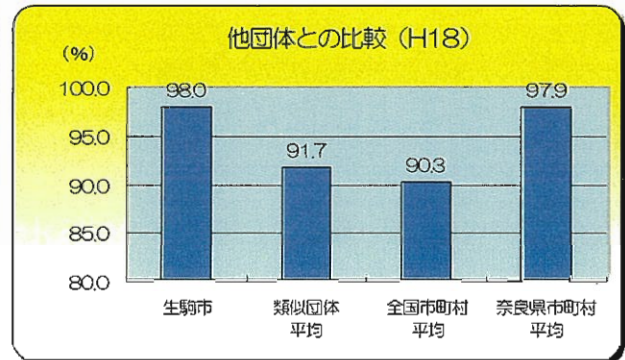
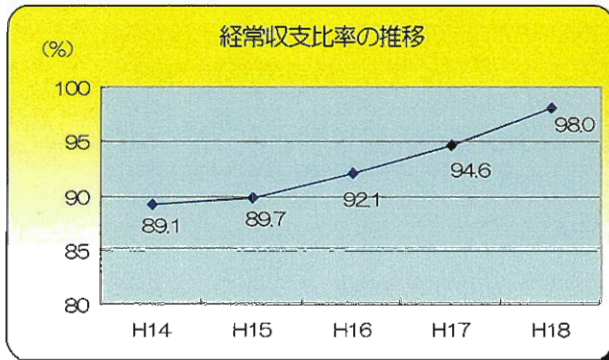
その他の内訳  
 維持補修費 3億9千万円  
 出資金 600万円  
 貸付金 3千万円  
 積立金 2億7千万円  
 予備費 5千万円

# 一般会計予算と市税予算の推移



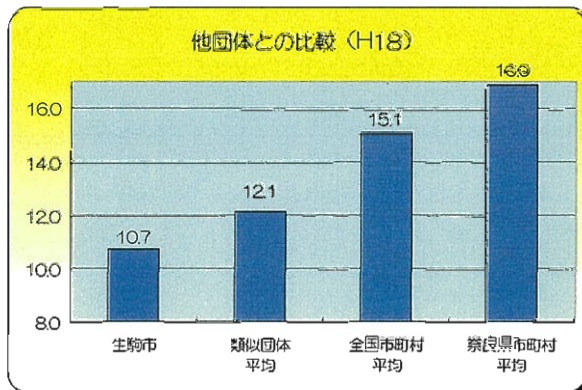
(経常収支比率)

経常収支比率は、高齢者の交通費助成や幼稚園教育の充実など、生駒市独自の福祉サービスの拡充などによって扶助費を中心に歳出が増加している一方、市税や普通交付税、臨時財政対策債などの歳入が減少していることから、近年上昇傾向にあります。全国市町村や類似団体の平均でも90%を超えていることから、財政の硬直化は全国的な傾向であるといえます。



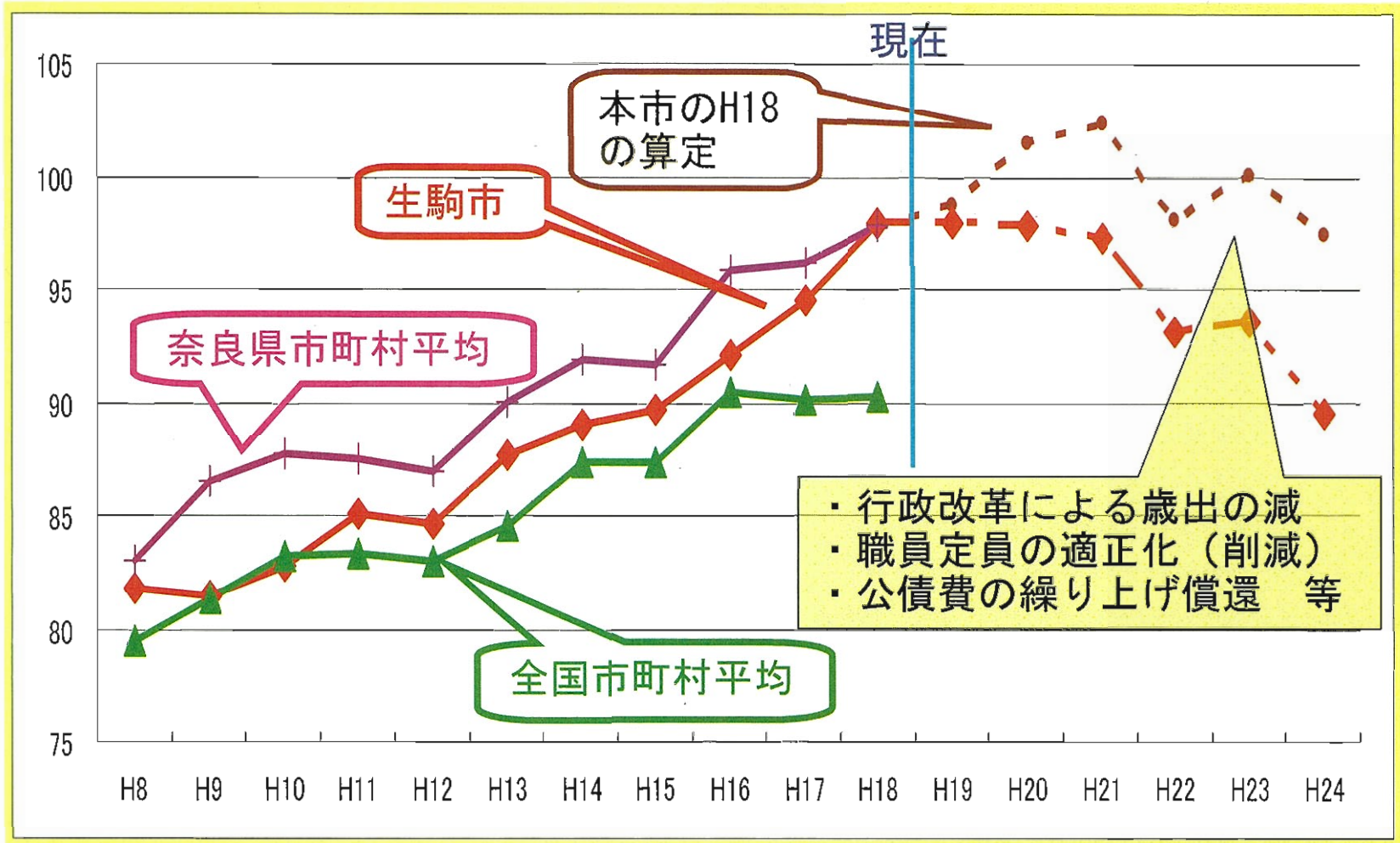
(実質公債費比率)

実質公債費比率は、過去に借り入れた地方債の繰上償還を行うなど、これまでの公債費を抑制する取組みもあり、全国平均を下回っていますが、地方交付税の抑制や市税収入などの伸びも期待できないことから、今後も地方債の借入れを厳選するなどの取組みを継続することが必要です。



「生駒市の事業と予算」より

# 経常収支比率の推移



## 地方債残高と基金残高の推移（普通会計）

